

自衛隊が大幅に軍備を拡大し米軍と一体となるための組織編成を進めています。軍備で平和を築けるのでしょうか。パレスチナを武力で抑え込むイスラエルを通して日本を眺めてみます。

① お話し

## ダニー・ネフセタイ さん

(元イスラエル空軍兵士。来日約40年の秩父在住木工作家)  
著書『国のために死ぬのはすばらしい?』(高文研)

② 報告

## 大野良夫 さん

(戦争法に反対するオール朝霞世話人)  
朝霞に新設され日米軍事組織の一体化を促進する陸上自衛隊総隊司令部と拡大される航空自衛隊入間基地機能について現地から報告をもらいます

とき 2017年

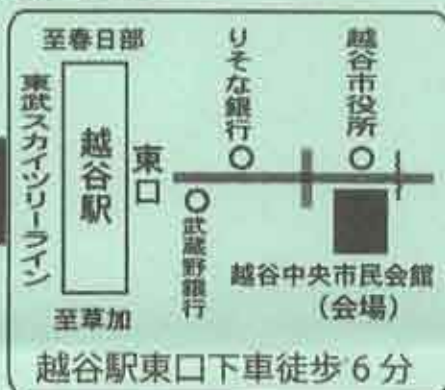
3月4日(土) 13:45 開演  
(開場は13:30です)

ところ 越谷市中央市民会館

5階第2、3会議室  
越谷市越ヶ谷4-1-1  
☎048-966-6622

どなたでもご参加いただけます  
直接会場へお越しください

参加費 500円  
主催 安保法制・東埼玉違憲訴訟の会  
後援 埼玉障害者市民ネットワーク、  
東埼玉百人委員会、  
安保法制違憲訴訟埼玉の会、越谷9条の会、山猫くらぶ、  
連絡先 安保法制・東埼玉違憲訴訟の会  
石井(☎048-965-6883) 倉橋(☎048-986-5846)



☆ イスラエルから見える日本の姿

# 武器を持てば平和になるの?

安全保障法制(戦争法)は憲法に違反しています。そして大変危険です。私たちはそれを裁判に訴えています。さいたま地裁へは既に四四九名が提訴しています。さらに次の原告を募集しています。多くの方々に応募していただきたいです。日本を再び戦火を交える国にしてはなりません